



## 『「日本国憲法」なのだ!』

赤塚不二夫, 永井憲一 草土文化

|                |                 |                 |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 生田分館           | 請求記号: J/323/A33 | 資料ID: 701317299 |
| Knowledge Base | 請求記号: J/323/A33 | 資料ID: 701877433 |

### 経営学部准教授 福山 文子

漫画で憲法!?!と思ったアナタ、騙されたと思って手に取ってみてください。

この本は、天才バカボン（皆さんにとっては、ワイモバイルCMの芦田愛菜さんでしょうか…）の作者赤塚不二夫と憲法学者永井憲一が「これからの日本が、再び戦争への道に引きずられないよう」書いたものです。構成は、「マンガ日本国憲法（文/永井、マンガ/赤塚）」、「赤塚と永井の対談」、「永井の解説『憲法をよむまえに』」、そして「資料（日本国憲法、教育基本法、大日本帝国憲法）」となっています。

時間がない方は、16頁に凝縮された「マンガ日本国憲法」だけでもいかがですか。随所にちりばめられた赤塚の「はて?」に揺さぶられながら、日本国憲法の三大原則である「平和主義」「国民主権」「基本的人権の尊重」について理解が深まると思います。

終戦を中国で迎えた赤塚は「くやしいのは、終戦になって、民間人のぼくたちは、軍隊が守ってくれるどころか置き去りにされたことですよ。最初に逃げたのが軍隊だった」（本書、p.31）と、述べています。赤塚の「はて?」は、実体験に裏打ちされているのです。

本書の最後、永井は「この憲法が制定された当時の“初心”に、日本の政治をたちかえらせるか、それとも憲法の『改正』をゆるして、ふたたび戦争にまきこまれ、生命をおびやかされる危険を『座して待つ』のか」と、私たちに問いかけています。永井へ応答するためにも手に取って頂けたら嬉しいです。